創業支援等事業計画施策事例集
～創業支援 虎の巻 弐～

平成31年3月

中小企業庁創業・新事業促進課

目次

〇はじめに …2

1. 市町村による創業支援

・青森県青森市 …3
・宮城県丸森町 …4
・山形県長井市 …6
・石川県七尾市 …7
・鹿児島県薩摩川内市 …8

2. 都道府県による創業支援

・広島県 …9
・大分県 …10

3. 民間事業者が行う創業支援

・一般社団法人さっぽろ産業振興財団 …11
・青森商工会議所 …12
・株式会社町田新産業創造センター …13
・(株)タウンキッチン …14
・レプイタル株式会社 …15
・(株)山陽不動産 …16
・一般社団法人まちはチームだ …17
・(株)ASO …18
・アライアンスタワーZ …19

4. 若年層・女性・シニア層へ行う創業支援

・NPO法人北海道エンブリッジ …20
・日本ママ起業家大学 …21
・一般社団法人沖縄ビジネス
インキュベーションプラザ …22
・銀座セカンドライフ株式会社 …23

はじめに

創業支援の現状と課題

日本の経済を再興し、産業を中長期にわたる低迷の状態から脱却させるべく現行産業競争力強化法（平成２５年法律第９６号）は成立しました。同法が施行されて以降、我が国の開業率は緩やかに上昇してきているものの、平成29年度時点で5.6%と、依然欧米の半分程度にとどまっています。

こうした状況の中、民間活力を高めていくためには、引き続き地域の創業者を支援し、雇用の創出や地域資源の活用を通じて産業の新陳代謝を進めていくことが重要です。 また、我が国では諸外国に比べ、創業に興味・関心を持っている人の割合が非常に低いことがわかっており、今後のさらなる開業率向上にあたっては、創業に関心のない層の掘り起こしが重要であると考えています。そのため、国は平成３０年７月に改正産業競争力強化法を施行し、従来より行われてきた創業支援のみならず、創業に対する国民の理解及び関心を深める創業の普及啓発に関する取組を「創業機運醸成事業」と称し、支援することとしています。

全国へ広がる創業支援等事業計画

産業競争力強化法により、市区町村が地域の様々な創業支援等事業者（地域金融機関、NPO法人、商工会議所・商工会等）と連携し、「ワンストップ相談窓口」や「創業セミナー」、「コワーキングスペース」などといった創業支援または「起業家教育」、「スタートアップカフェ」等の創業機運醸成事業を実施する「創業支援等事業計画」を国が認定することで、開業率の向上を目指しています。本計画を策定し、地域内の創業支援等事業者と連携、そのノウハウを活用することで、地域における効果的な創業支援が行われることが期待できます。加えて地域の課題解決や資源活用等、地域の実情に沿った支援にも活用がなされています。

本計画は、これまで第1回から改正法第2回まで計15回の認定を行っており、合わせて1,267計画（47都道府県1,419市区町村）が認定を受けています。また、改正法第1回認定から計画に位置付けられることとなった創業機運醸成事業は100を超える市区町村が取り組んでいます（平成30年12月26日時点）。商工会・商工会議所が旗を振って取り組む計画、民間企業が自治体と協力するもの、複数の事業者と行政が一体となって連携するものなど、実施体制も様々です。また、地域資源の活用や6次産業化と組み合わせて創業支援を目指すものなど、その手法や目標も地域で様々な特徴が見られます。

創業支援の意義

創業支援は創業希望者に対する初期の相談対応から始まり、創業した後も経営が軌道に乗るまでの各種フォローアップが求められるなど数年にわたる支援が必要とされます。同様に、創業機運の醸成もすぐに成果が出るものではありません。創業の身近なロールモデルを提示し、本人の自発性を喚起する仕掛けを施しながら、継続的な取組を実施していくことが重要です。しかしながら、地域の様々な支援機関が連携し、地域の創意工夫を凝らした創業支援、創業機運の醸成をしていくことで地域の創業者、創業無関心者への効果的な支援・啓発をしていくことが可能となります。

創業者の背中を後押しすること、創業無関心者の掘り起こしを行うことで地域内に事業者、創業希望者が増えていき、新たな雇用や新規事業が生まれることで街に活気が宿っていきます。地域活性化を目指す自治体、地域の支援機関の皆様は、本事例集をご参考に、引き続き地域の将来を担う創業者の掘り起こしや育成に取り組んで頂ければと思います。

産学金官連携による起業・創業支援

計画認定取得の背景・きっかけ

○平成24年度から、創業希望者・新事業展開を目指す事業者を対象とした相談窓口を設置。

○平成26年に産業競争力強化法が施行されたことを受け、市と支援機関との連携強化及び支援事業の拡充を図るため、同年、計画を策定。

○平成28年には、「まち・ひと・しごと創生法」の施行を契機として、広域連携での事業者支援を実施するため、本市周辺の自治体(4町村)が本計画に参画。

創業支援／創業機運醸成事業メニュー

現行の各支援機関による相談窓口、創業セミナー等に加え、平成30年度から、①起業マインドの醸成のための「あおもりスタートアップ支援セミナー」を毎月開催。

②金融機関との共催による「地域クラウド交流会」を開催。

取組のこだわりポイント

○青森商工会議所と「スタートアップの推進に関する連携協定」を締結し、同所が整備したスタートアップの促進に向けた交流の場「AOMORI STARTUP CENTER」に従前の起業・創業に関する相談窓口を移転させ、創業希望者等を支援。

○市内にある６大学等と連携し、学生又は学生グループが独自技術、アイデア、こだわり等をもとにしたビジネスアイデアについて発表し、市として表彰する「学生ビジネスアイデアコンテスト」を開催予定。

○市独自の助成金制度を立ち上げ、市内の金融機関と連携し中小企業による新たな事業展開、起業・創業に要する初期投資に関する経費を支援。
また、同助成金の交付決定者を「青森市新ビジネスチャレンジャー」として認定。

自治体と民間事業者が協力にタッグを組み、起業家を徹底サポート

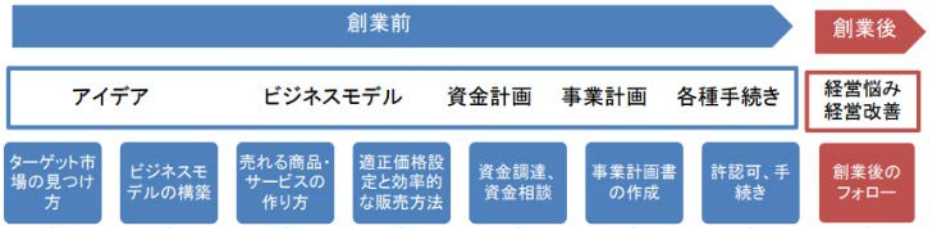
計画認定取得の背景・きっかけ

- 計画策定前は商工会で創業相談を受け付けていたが、相談はほとんどゼロ。丸森町の創業希望者は創業準備のために仙台の起業支援センターまで足を運んでいた
- 「町の中でチャレンジをしたい人が、チャレンジできる場をつくる」ために、2015年より計画に基づく創業支援を開始

創業支援／創業機運醸成事業メニュー

① 「丸森CULASTA」におけるワンストップ創業サポート

- ビジネスモデルの構築から資金調達、創業後の経営相談まで、ワンストップで起業家を支援



② 「まるまるまるもりプロジェクト」における移住＆仕事づくりサポート

- 移住と自分らしい仕事づくりを同時に行うライフスタイル創生プロジェクト
- 月約20万円のベーシックインカムあり（地域おこし協力隊制度を活用）

取組のこだわりポイント

① <u>ハード（創業支援拠点）だけではなく、ソフト面を充実させることで、人を呼び込む</u>

- 起業家向けビジネススクールだけではなく、ミニ勉強会（例：先輩起業家講演、クラウドファンディングセミナー等）を実施することで、多くの人が気軽にCULASTAに足を運べるようにしている

② <u>起業家自身の力と想いを信じる創業支援</u>

- 「実行するのは起業家、自分が決めたことが一番力が出る」という前提に立ち、コンサルタントとしてではなく、身近なメンター的な立場で関わる
- 起業家と週1回の打ち合わせを定期的に行い、徹底的に伴走をしながらサポートする

- 有形文化財「齋理屋敷」の中にある丸森CULASTA
- 「200年前からイノベーションが起こっていた場を創業の拠点にした」と担当の八島さんは語る

インタビュー：なぜ丸森町には起業家が集まるのか？

■ 起業家誘致は試行錯誤の連続。足を動かし続けることが重要

――丸森町さんは起業家誘致に成功しているという印象があります。

倉田：実際は試行錯誤の連続でした。最初はターゲットを「丸森町出身の人」に設定し、仙台と東京で「丸森CULASTA会議」と題した誘致イベントを開催しました。参加者は延べ80名にのぼりましたが、丸森町への来訪や移住には繋がりませんでした。

八島：その後ターゲットを「起業家が近くにいる人」や「尖った人」に絞り、直接アプローチすることにしました。東京や仙台で行われているセミナーには数えきれないほど足を運び、コワーキングスペースも一つひとつ回りました。

■ 自治体と民間事業者による強力なサポート体制が、起業家を惹きつける

――「まるまるまるもりプロジェクト」には、丸森町に縁が無かった人も参画をしています。丸森町の何が起業家を惹きつけたのでしょうか？

倉田：アパレルの企画販売を行っている高野さん、豊田さんは京都出身です。丸森町には縁がありませんでしたが、プロジェクトを機に丸森に移住をしました。行政と民間が強力にタッグを組んで創業希望者を支援する体制を見て、「この人たちとなら一緒に仕事ができる」と思ったようです。

■ 丸森町を、人の可能性を拓く場所に

――進化を続ける丸森町ですが、今後のビジョンを教えてください。

八島：丸森町を、「大きな可能性を持っているのに、どこか別の場所で埋もれている人」が輝ける場にしていきたいです。最終的には、丸森を基点に始まった取組が、丸森を超えて世の中をよりよく変えていけるようになると良いと思っています。

インタビュイー①　八島　大祐さん

- 丸森町役場職員
- 平成２８年より創業支援事業を担当
- 人と人を繋ぎ、大小さまざまな「しごとづくり」を支援します

インタビュイー②　倉田　慎さん

- 一般社団法人MAKOTO
- 平成３０年より丸森町における創業支援事業を担当
- 起業家の志の実現を全力でサポートします

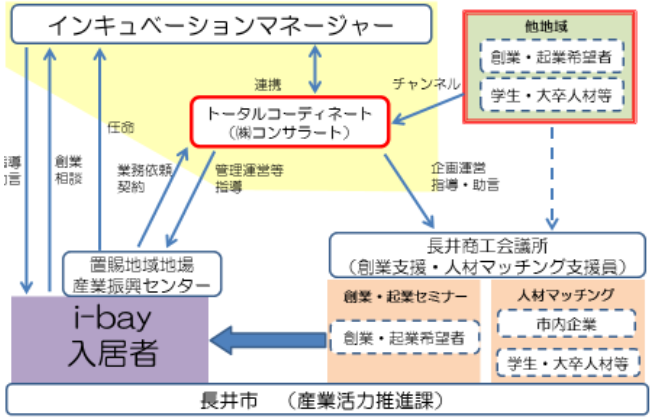
創業支援事業と創業機運醸成事業を併せて行うことで、中長期的に創業者を生む

計画認定取得の背景・きっかけ

- 創業機運醸成事業計画を作成した理由は、計画策定前から実施していたビジネスプランコンテストを計画に組みこむことで、計画策定によるメリットを受けられるようにするため
- インキュベーション施設で行っている創業支援事業をより効果的に継続していくためにも、創業希望者を増やす必要があった

創業支援／創業機運醸成事業メニュー

① イノベーションLab.長井.i-bayを基点にした創業支援



① 長井ビジネスチャレンジコンテストの開催

- これから創業する者、創業２年未満の者を対象としてビジネスプランコンテストを開催
- ビジネスプラン部門、ビジネスアイディア部門、高校生チャレンジ部門の３つの部門を設け、幅広い層から参加者を募っている

取組のこだわりポイント

① 創業機運醸成事業を併せて行うことで、創業希望者を継続的に生み出しつづける

- 創業支援施設だけではなく、創業機運醸成事業を併せてやることで中長期的に創業者を生む

② 地域のメディアと連携して広報を行うことで、創業無関心者や、市内外のビジネス関係者を集客

- 地域のテレビ局や新聞社と協賛し広く広報を行うことで、平成29年開催時は地元高校生や主婦などの創業無関心者を含む約200名の集客に成功
- ビジネスプランの内容も併せて広報することで、ビジネスマッチングにも繋がった

- 平成29年度ビジネスチャレンジコンテストの様子

石川県七尾市

地域の創業支援事業者と一体的に連携した「ななお創業応援カルテット」

計画認定取得の背景・きっかけ

- 平成１９年度から創業塾を開催するも、年々参加者が減少。
- 創業者の掘り起こしからフォローアップまでの一貫した創業支援を実施するため、平成２６年１月に「業務連携・協力に関する協定」を市・商工会議所・日本政策金融公庫・のと共栄信用金庫の４機関で締結。平成29年度に商工会も加わり５機関で対応。

創業支援／創業機運醸成事業メニュー

- 機運醸成から事業のフォローアップまで、ワンストップで対応

●企画展示・創業セミナー（機運を醸成）

●相談窓口設置（５機関に設置）

●創業塾・移住者向け創業塾

（経営の基礎から事業計画作成までを１０回で習得）

●専門家派遣

（創業計画のブラッシュアップ、創業後のフォローアップ）

●創業者と創業希望者の交流会

（異業種との連携・創業者同士の連携）

取組のこだわりポイント

●毎月1回、5機関の担当者が集まる連絡会を開催して創業者や相談者の状況を情報共有。
5機関の視点で課題解決に向けた支援策を検討し、実行

●石川県よろず支援拠点など外部支援機関とも連携し、より専門的な支援策も提供

●移住者向け支援パッケージも提供

●支援事業者が発行する各種媒体で創業者をPR

創業者の声

県外から来た私にとって頼りになったのが「ななお創業応援カルテット」

開業準備、物件の紹介、融資、開業後のサポート、トータルで相談にのってもらいました

朝漁れ一番哲　（2017年11月開業）
代表　会田　哲也　氏

鹿児島県薩摩川内市

創業希望者のコミュニティ構築によるモチベーションの向上

計画認定取得の背景・きっかけ

●薩摩川内市は人口約96千人。産業構造は第2次産業の比重が比較的高く、特定の大企業に関連する事業者が多く見られる。

●平成25年に大手企業が撤退を発表し、多くの従業員に影響がでたことはもちろん、取引のある関連企業へも大きな打撃であった。

●このようなことから、企業誘致に加え、地域内の事業者の新たな取組を促進し、新たな付加価値を創出する「内発型」の産業振興に取り組むこととしていた。

創業支援／創業機運醸成事業メニュー

●毎月開催する創業支援ネットワーク会議における支援機関の情報共有と連携の促進

●ワンストップ相談窓口（薩摩川内市・薩摩川内市産業支援センター）

●創業スクール（川内商工会議所）

●経営支援
（川内商工会議所、薩摩川内市商工会）

●金融支援
（日本政策金融公庫、地域金融機関）

●テナント家賃補助事業
（㈱薩摩川内市観光物産協会）

●創業支援事業補助金（薩摩川内市）

取組のこだわりポイント

●創業スクールでは、「楽しく学んで」「和やかに交わり「やる気・勇気を持ち帰っていただく」をモットーに、支援者も創業者と共に学びあい、支援する側・される側の認識を取り払う。

●LINEグループなどSNS等により、スクール以外でのコミュニティも形成。お互いに刺激しあうことで創業に向けたモチベーションを維持・向上

皆で学び高めあう創業スクール

口コミによる受講希望者の増加

● 創業支援ネットワーク会議を毎月開催。支援者間においても積極的な情報共有を図り、効果的支援に努める。

創業者の声

創業スクールに参加して、改めて自分のビジネスプランを見つめなおすいい機会になりました。
仲間の取組も刺激になり、全国創業スクール選手権でのプレゼンも貴重な経験です。

平成29年度全国創業スクール選手権
ファイナリスト　久留須　千賀子さん

「オール広島」による支援体制の構築により“強く”“多様で”“多くの”創業を創出

広島県における創業支援の経緯

- 平成25年度に（公財）ひろしま産業振興機構内に県内の中核支援機関として**「ひろしま創業サポートセンター」**を開設し、総合的な創業支援を開始～開設5年間で1,745件創業
- 平成27年度には、県内の全市町が国から産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画の認定を受けたことを好機として、創業支援に取り組む関係団体が連携し創業を支援する**「オール広島創業支援ネットワーク」**を構築

広島県の創業支援の取り組み

■ 創業支援の基盤づくり

【オール広島創業支援ネットワーク協議会】

ブロック会議▼

- 関係団体の実務担当者を対象に、全体会議やブロック会議を毎年開催
- 創業支援の取組や成功事例の共有、スキルアップの研修等を実施し、支援機能の向上と各団体の連携強化を図っている

【ひろしま創業サポートセンター】

- ①創業マネージャー等による各種相談対応、②中小企業診断士等からなる創業サポーターによる専門アドバイスの実施、③創業セミナーの開催など、きめ細かい創業支援を実施
- 県内の中核支援機関として、個々の支援機関を支援

■ 創業機運醸成による潜在的創業希望者の拡大

【創業フェスティバル（表彰・イベント）】

▲第1回表彰式

- 県内の優れた創業者の表彰（知事表彰）や創業者にスポットをあてたイベント「創業フェスティバル」の開催を通じて、広く県民の創業意識の向上を図っている

【スーパースターターズによる憧れ形成】

学生との交流▶

- 県内出身の起業家（スーパースターターズ）を県内大学に招いて学生との交流を実施
- 若者世代に起業及び起業家への理解や関心を高め、起業の認知度向上を図っている

【女性向け伴走型創業支援「おとなの創業女子部～創女部（ソウジョブ）～」】

創業カフェ（座談会）▶

- 創業意欲はありながら具体の創業準備に進めない女性を支援担当者（先輩女性起業家）が個別相談を通じて伴走型（寄り添い型）で支援することで、女性の創業を促進

【ひろしまスターターズ】

ひろしまスターターズ▶

- 創業の魅力や県・市町の創業支援情報を網羅したポータルサイト「ひろしまスターターズ」を運営し、潜在的創業希望者の拡大を図っている

創業から発展に至るまでの継続支援

大分県の創業支援の背景

■　創業を促進するため、平成２７年度に創業支援拠点「おおいたスタートアップセンター」を設置し、市町村や商工団体、金融機関、民間インキュベーション施設等との連携を通じて、潜在的な創業希望者を掘り起こし、創業を実現していくとともに、成長意欲と新規性、成長性に優れたベンチャー企業の成長を支援していく。

創業支援／創業機運醸成事業メニュー

① 女性起業家創出促進事業

- 県下を網羅する女性起業家ネットワークを構築し女性起業家同士や創業希望者との交流を促進。女性目線のビジネス創出を図るビジネスアイデアコンテストを開催。

② 留学生スタートアップ支援事業

- 外国人留学生を対象としたビジネスプランの磨き上げやマッチングイベントを通じ、出資を得られる機会を提供し、「経営・管理ビザ」の取得要件の資金調達の実現を支援。

③ おおいたアクセラレーションプログラム

- 目線の高い起業家を対象として総合的かつ集中的なハンズオン支援を6ヶ月程度実施。また、県内外の先輩経営者（メンター）等による販路開拓や資金調達を支援。

取組のこだわりポイント

① ハードルを低くし、気軽な参加を促す

- 孤独感、キャリアのハンデ、家事・育児と事業の両立といった課題に対し、「想いをカタチに」をスローガンに、支援を展開。事業に賛同する県内のサポーター企業の協力等から実現を目指す

② おおいたの宝（人口あたりの留学生数全国上位）を活かす創業支援

- マッチイングイベントに、大分に縁の投資家等を集め、投資の実現を目指すとともに創業実現へのアドバイスをもらう

③ マンツーマンによる的確な支援で成長を促進

- ノウハウ・経験のある外部プロフェッショナルによる集中的ハンズオン支援を核に、外部メンターも有効に活用することで、加速的な成長を促すとともに、成長支援のエコシステム形成を目指す

女性起業家ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ

留学生向け
ﾌﾞﾗｯｼｭｱｯﾌﾟｾﾐﾅｰ

先輩起業家との
交流イベント

一般財団法人さっぽろ産業振興財団（北海道札幌市）

創業機運醸成から創業後支援まで一気通貫にて支援

自治体との連携の背景・きっかけ

- 札幌市が、新たな産業の創出に取り組むために、５０％出資し、札幌市長が理事長を務める産業支援機関。
- 創業普及啓発・創業セミナー・創業スクール・インキュベーション施設・コワーキングスペースの運営と、創業支援から創業後の支援まで一貫支援に取組。

創業機運醸成事業／創業支援メニュー

- 創業機運醸成講座、創業希望者向け講座の開催
  小学生、高校生向け起業家講座の開催
  先輩起業家を訪問する講座の開催
  コワーキングスペースや起業支援機関を訪問、見学するツアー・講座の開催
- スタートアップ・プロジェクトルーム（SPR）
  インキュベーション施設。インキュベーションマネージャー、中小企業診断士等が定期的にアドバイス。
- インタークロス・クリエイティブ・センター（ICC）
  札幌へのクリエイティブ産業の集積とクリエイティブ産業と他産業の連携促進を目指し、コワーキングスペースの提供、イベントの開催など、クリエイティブなプロジェクトを支援。

取組のこだわりポイント

- 創業機運醸成から創業後支援まで一気通貫支援
  夏休みを活用した小学生と高校生向けの創業普及啓発イベントから、先輩起業家の話が聞けるイベント、創業セミナー・スクール、創業後のインキュベーション施設(SPR)での手厚い支援により、創業をサポート。
- 創業者のステップアップを着実に支援
  SPRでは、専門家の経営アドバイスが無料で受けられる他、入居者同士の勉強会・交流会等で情報交換等の支援が充実。また、事業規模に応じた３段階の広さの入居ユニットを用意。事業が拡大し、広いユニットへ移る創業者も出てきている。また、ICCとの連携による入居者支援も行っている。

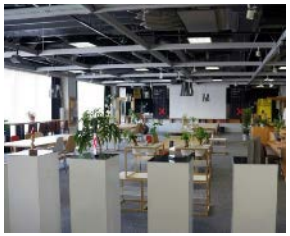
創業機運醸成講座

▲起業志望者向け講座
（支援機関連携講座）

SPR

▲入居ユニット
（Aルーム）

ICC



▲クロスガーデン
（コワーキングスペース）

青森商工会議所（青森県青森市）

「ＡＯＭＯＲＩ ＳＴＡＲＴＵＰ ＣＥＮＴＥＲ」を拠点にした創業支援

自治体との連携の背景・きっかけ

●青森商工会議所が青森駅前に移転

青森商工会議所は、平成30年7月に青森駅前の商業ビルを購入･改修し、新会館１階に創業･起業支援などを行う施設「ＡＯＭＯＲＩ ＳＴＡＲＴＵＰ ＣＥＮＴＥＲ」を整備

●青森市と連携し創業支援事業に取り組む

当センターには、これまで青森市の起業・創業支援の中核を担ってきた「あおもり地域ビジネス交流センター」が新たに入居し、インキュベーションマネジャーと当所経営指導員が常駐する体制を整備

創業支援／創業機運醸成事業メニュー

●インキュベーションマネジャーと経営指導員の連携

・「あおもり地域ビジネス交流センター」のインキュベーションマネジャーと当所経営指導員等が連携し、創業希望者を対象とした相談窓口を設置

・相談内容によっては、金融機関や（公財）２１あおもり産業総合支援センター等とも連携し対応

【相談時間延長による利用者の利便性の向上】

相談窓口は平日（月～金曜日）10:00から20:00、土曜日13:00から18:00（祝日・年末年始を除く）と利用時間を拡大

取組のこだわりポイント

●気軽に相談できる雰囲気づくり

・「ＡＯＭＯＲＩ　ＳＴＡＲＴＵＰ　ＣＥＮＴＥＲ」は、起業・創業・事業承継など、ワンストップでの経営全般に関する総合的な支援窓口であるとともに、青森駅前の立地を生かし、人々が集いやすい賑わいづくりの拠点としての機能を持つ。

・地域活力の強化を図るため、起業・創業や企業の第二創業、事業承継等への支援をはじめ、新商品、新サービスの創出、大学生等が行う中心市街地でのフィールドワークの拠点、さらには、街の活性化に意欲的な人々が集い、新たな価値創造を加速的に進め、発信する。

株式会社町田新産業創造センター

「独創的」・「個性的」な企業の創出を目指したワンストップ型ハンズオン支援

自治体との連携の背景・きっかけ

- 「まちだ未来づくりプラン」の実現に向けて具体的な事業と取り組みを定めた「町田市新５ヵ年計画」に基づき、町田市（９０％）、町田商工会議所、株式会社きらぼし銀行（各５％）が出資し、２０１３年１月に設立された創業支援機関である。インキュベーション施設の運営や創業セミナー、創業個別相談、ビジコン等の開催も行っている。

創業支援／創業機運醸成事業メニュー

- ・インキュベーション施設運営
- ・販路拡大支援
- ・資金調達支援
- ・ビジネスプランコンテスト
- ・創業セミナー
- ・創業個別相談会
- ・女性創業スクール
- ・高校生向け出前セミナー
- ・高校生向けビジコン
- ・子供向けセミナー

取組のこだわりポイント

- インキュベーション施設運営

当センターは、事業の「新規性」・「独自性」にウェイトを置き、厳格な入居審査を行っている。個室の入居者はユニークな事業展開を行っている企業が多く、個室全26部屋の入居率は100%を維持している。

- 各種セミナー/相談会

創業者・創業希望者を対象としたセミナーや相談会を継続的に開催するなど、創業のステップに応じた支援を行っている。女性の創業希望者を対象とする「まちだ女性創業スクール」は第4回全国創業スクール選手権にて、優秀な創業スクールとして『創業スクール10選』に選出された。

- 創業機運醸成事業

市内企業の新たなビジネス展開の創造も目的として、各企業ごとのテーマに対して、課題解決を募るビジコンを開催。市内企業と起業家、女性、若者と結び付けている。また、当センター入居者や関係者が講師となり、体験型子供向けセミナーや高校生向け出前セミナー等を開催するなど創業機運醸成に取り組んでいる。

㈱タウンキッチン（東京都小金井市）

アイデアを育てるプラットフォーム

自治体との連携の背景・きっかけ

- 行政や大企業の画一的なサービスに限界が生じており、カバーしきれない隙間の問題が山積みしている。その問題を解くカギは、地域に住む一人ひとりの当事者と、それを支えあう人と人との関係性にある。
- くらしの現場でビジネスをつくるために、アイデアをシゴトにする人の支援を開始。

創業支援／創業機運醸成事業メニュー

① 東小金井事業創造センター　KO－TO

【シェアオフィス】

- 小金井市の公共施設。創業相談やスクールを実施。
- 個室、ブース、フリー席を提供。

② ８Ｋ

【シェアキッチン】

- 飲食店営業・菓子製造業の許可を取得できるキッチン。
- オリジナルの屋号で出店でき、定例勉強会も開催。

③ HIBARIDO

【シェアデパートメント】

- ひばりが丘団地の一画に設置したシェア施設。
- キッチン・ショップ・ワークスペースの3区画を提供。

取組のこだわりポイント

① <u>創業相談から創業する場・創業期を一貫支援</u>

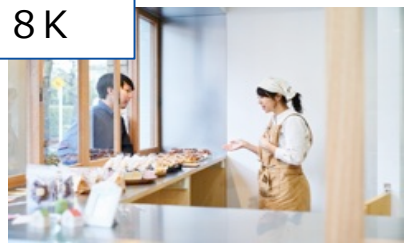
- 創業スクール、セミナー、個別相談から、開業するオフィス・店舗・工房・キッチン等のはじめる場まで、創業期の支援を一貫提供。

② <u>少ない負担で事業を開始できる場を提供</u>

- まずははじめてみることが重要。
- 少ない負担でさまざまなアイデアの具体化を支援。

KO-TO

８Ｋ



HIBARIDO

レプタイル株式会社（岡山県津山市）

津山に住む人・津山に戻りたい人が集まる温かい場づくり

自治体との連携の背景・きっかけ

- 「創業支援の担い手には、実際に創業経験のある民間事業者が入るべきである」という自治体の考えがあり、自治体から声がかかった
- レプタイル株式会社は「地域と地域の企業の魅力を発信する」デザイン会社。地域の創業者であることから創業希望者からの相談を受けることが増え、現在の創業支援事業に発展した

創業支援／創業機運醸成事業メニュー

① 「アートインク津山」におけるUIターン起業支援
- 年間120件以上の相談者が集まるインキュベーションセンター＆コワーキングスペース
- 創業相談、ビジネスプラン相談、イベント支援、資金調達など創業をワンストップで支援

② Uターン者向け創業スクール「Homing」
- 2018年より「Uターンが稼ぐまち津山」「総額10億円のふるさとベンチャーを創出」をコンセプトに、創業スクール「Homing」を開校

③ クラウドファンディング「FAAVO岡山」の運営
- 「FAAVO岡山」は岡山を盛り上げるプロジェクトに特化したクラウドファンディングサイト
- 起案や資金調達中の改善アドバイスなど手厚く創業者をサポート

取組ののこだわりポイント

① 街の人が自然に集まる場づくり
- 「アートインク津山」は、創業相談などの創業者向けイベントだけではなく、様々なテーマのワークショップ（写真、コミュニティ形成等）を開催することで幅広い層の人を呼び込む
- また、建物の前に飲食の屋台を置くことで、誰でも気軽に寄れる雰囲気をつくっている

② 豪華な講師陣による徹底サポート
- 創業スクール「Homing」では、岡山県内外から豪華な講師陣を招聘し、PR効果をねらった
- 全員起業家の講師によって、スケーラブルな地域ビジネスについてアドバイスを行う

- 古民家を改装した「アートインク津山」
- 入口前に飲食の屋台を設置し、多くの人が立ち寄りやすい場づくりをしている

有限会社山陽不動産／株式会社山陽管理　DioPorte（広島県福山市）

「何か始めたい」最初の一歩の負担を軽くし、後押しする若手起業家応援ビル

自治体との連携の背景・きっかけ

- 角田社長が「ふくやま女性テラス委員」として，福山市の施策立案に構想段階から女性の視点で提言。
- 創業支援に関するイベントを福山市や広島県と共催
- 平成３０年９月，福山市が実施する創業支援等事業計画に創業機運醸成事業者として参画。

創業支援／創業機運醸成事業メニュー

① 若手起業家支援ビル　DioPorte

- 若者の新たな挑戦を応援したいという想いから、創業時の「オフィスを借りる」負担を少なくした。敷金・礼金・仲介手数料不要
- 入居者は福山ビジネスサポートセンター「Fuku-Biz」の経営相談サポートを受けることができる
- 主に入居者によって構成されるDioPorte CLUBでは、定期的に交流会・勉強会を行い、切磋琢磨し合える仲間づくりに貢献している

② TREE　～ひろがる・つながる・女性の輪～

- 備後地域の経営者や創業予定者など「様々な人と繋がりたい」女性が集まる交流会TREEを開催

取組ののこだわりポイント

① <u>起業家・不動産オーナー・街の三者にメリットがあるモデルを構築</u>

- 起業家だけではなく、「空き不動産を有効活用したい」「街を活性化したい」不動産オーナーや街にとっても嬉しい
- DioPorteで起業をするために、福山に移住・帰郷した実績も生まれている

② <u>起業家のお困りごとに寄り添う形で事業を発展</u>

- 起業家のお困りごとに徹底的に寄り添う形で事業を創出・発展させてきた
- 例えば、DioPorteの経営相談サポートやDioPorte CLUBは、角田社長が入居者からの創業相談を受け始めたのがきっかけ

- 現在三棟あるDioPorteは、2018年10月現在満室
- プレゼンルームや応接室も完備

一般社団法人　まちはチームだ（福岡県北九州市）

知見と体験のシェアリング　～共有することで新たな価値を創出していく～

自治体との連携の背景・きっかけ

- 北九州市から創業支援事業に取り組んでほしいとのオファーがあり、平成26年の秋から創業支援コミュニティ「創生塾」をスタート。目指すものは奪う＋所有する→成功、という競争する社会から、貢献する＋共有する→幸せになる創発する社会の実現。
- 平成29年８月から北九州市の認定連携創業支援等事業者として、同市の創業支援等事業計画に参画。

創業支援／創業機運醸成事業メニュー

- 創生塾ベーシックコース

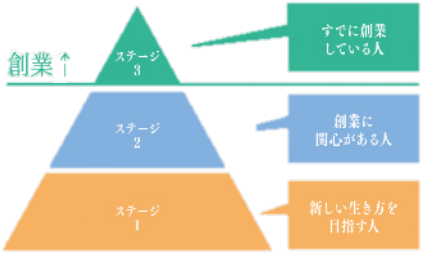
コワーキングスペース「秘密基地」において創業講座を実施。また、当日会場に足を運べない受講者向けにネット配信によるｅラーニングシステムを導入。

- 創生塾アントレプレナーシップコース

地域の商業高校において「個の力」「コミュニティ」「地域貢献」をテーマに実施。生徒の起業家マインドを醸成し、将来的な地域のビジネスリーダー育成を目指す。

- 相談窓口、交流会

創生塾を補完するものとして実施。相談窓口では各分野の専門家が常駐。交流会では塾生同士や先輩起業家との交流を促す。



取組ののこだわりポイント

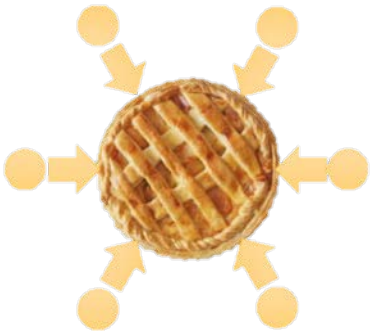
○仲間探しの空間

「秘密基地」で実施される創生塾は、起業家予備軍を育てる、という意識より、出会いの場という色合いが強く、塾生同士のコミュニティが活性化していくことを何より大事にしている。18時以降はパブタイムとなり、個々に仕事を持ち働く人たちが、互いにコミュ―ニケーションを取れる交流場所として利用可能。結婚式の二次会会場として利用されることも。

○価値を提供しあい、共有する

コワーキングとは文字通りワークをシェアすること。仕事を奪い合うのではなく、出会った仲間と苦手分野・得意分野を相互補完しあうことで新たな仕事や価値を創出していく。「秘密基地」では、ワーキング環境を整備し提供するにとどまらず、人をつなげることで経験や仕事を共有し、新しいことにチャレンジしていく。

21世紀型社会（創発する社会）



Give & Share → Happiness
- 自らの価値をいかに提供するか(Give)
- どれだけ多くの価値を共有するか(Share)
- いかに幸福であるか(Happiness)

㈱ASO（大分県別府市）

地域資源、相談、オフィス、マッチングで起業家を徹底サポート

自治体との連携の背景・きっかけ

- 計画策定以前から民間事業としてシェアオフィスの運営を行い、創業希望者に創業相談を受けていたため、認定時に枠組みに入り、別府市内での創業支援により役割を持って関わることになった。
- 「やりたいことを諦めずにやりつづける支援」を行うために、2015年より計画に基づく創業支援を開始。

創業支援／創業機運醸成事業メニュー

1. 「Alliance Social Share Office Beppu（以降、ＡＳＯ）」におけるワンストップ創業サポート
   - ビジネスモデル構築から資金調達、創業後の経営相談まで、ワンストップで起業家を支援。

2. 地域資源に基づいた「留学生起業支援事業」「移住支援-おおいた移住計画」「大学生の歴史プレゼン-レキシNight」「県内外情報交換・フィールドワーク-マチツク、リーダーズキャンプ」など複合的に県内外に横のつながりを構築し、起業家同士をマッチングしている。

取組のこだわりポイント

1．<u>ハード（創業支援拠点）だけではなく、ソフト面を充実させることで、マッチングを促進</u>
   - 別府駅近くの創業支援施設アライアンスタワーZ内のシェアオフィス。拠点利用、無料の創業相談（年間３００件）、交流会やセミナーを実施することで、多くの人が気軽にＡＳＯに足を運べるようにしている。
   - 専門家（デザイナー、ライターなど）が複数在籍するため、シェアオフィス内で連携し、創業者の支援などを行う。

2．<u>事業計画が整っていない事業者と共に整理を行う伴走型創業支援</u>
   - 本人が本当にやりたいことは何かを見つけ出し、その思いを元に創業へと進めるように、未整理の段階から伴走して思いや事業内容の整理を行う。
   - 学生、留学生、女性、移住希望者など様々な創業希望者から日常的に相談を受ける。

アライアンスタワーZ　(株)Ｚ：インキュベーションビルの運営　(大分県別府市)

起業家と企業家のマッチングと資金付け

自治体との連携の背景・きっかけ

- 弊社は、経営革新法承認事業のもと大分県内初の民間インキュベーション施設を新築し、運営者として、２００５年に事業を開始した。
- 別府市内で起業し、本社を市内に登記する者を対象にして２００５年より創業支援を継続している中で、ノウハウを生かして本事業に参加。

創業支援／創業機運醸成事業メニュー

①　インキュベーションオフィスの提供

- 初期費用をおさえられる事務所
- コラボ可能な企業が入居している
- 自由に使える会議室がある

②シェアオフィスの提供

- ㈱ASOと連携しシェアオフィスサービスも提供
- インキュベーションマネージャーが常駐在籍
- 補助金、各申請支援、投資支援などの相談サポートをトータルで支援

③セミナー等イベントの開催

- 大分県創業支援施設リレーセミナーを県と連携し開催。ピッチイベント等も開催。

取組ののこだわりポイント

①「ひとりぼっちよ、さようなら。」をコンセプトに、さまざまな連携を支援

- 個々の起業者及び金融機関、情報会社からのリサーチデータ情報を徹底活用し、新規事業、売上向上につなげる支援を行う。
- 入居する起業家同士並びに、地元の企業者とのマッチングによる組み合わせをサポート。

②M&A、事業再生のスキームを活用した創業支援

- 大分県事業引き継ぎ支援センターの専門登録支援機関として登録。廃業する企業と起業者を結びつけ、ノウハウ・実績があり金融機関が融資を付けやすい形から、０からでない創業を支援。

ＮＰＯ法人北海道エンブリッジ（札幌市）

大学生と中小企業をプロジェクトでマッチング（長期インターンシップ）

自治体との連携の背景・きっかけ

- 大学生と地域の魅力的な中小企業をつなぎ、インターンシップを年間20～30件実施していたことから、「起業に挑戦したい」「試したい企画がある」大学生・高校生を対象に、創業支援を開始。
- 若者創業相談所を開設し、ビジネス・チャレンジ・コンテストの開催に取り組む。

創業支援／創業機運醸成事業メニュー

①　長期インターンシップ

- １次産業や福祉、観光、ＩＴ、モノづくり等多様な地域産業に札幌近郊の大学生を長期間送り出す、コーディネートに取組み。
- 自ら考え社会課題の解決や新しい価値づくりに取組む起業家を育成。
- 学生達が常時１０社以上の企業に受入れされている。
- ２週間～２ヵ月に渡り春・夏休みを中心に取組む短期実践型のプロジェクトもある。

②　若年層創業サポート　moteco

- 大学生・高校生を対象に、起業経験者や様々な分野のプロフェッショナルが、企画がビジネスになるまでのサポートを行う。
- ３ヶ月で小さくても事業になるまでを支援。

取組ののこだわりポイント

①【長期インターンシップ】

<u>よりよい社会に向けて、楽しみながら挑戦を続ける若い世代を次々に輩出する。</u>

- 課題の中で「自分たちが働くことで、社会をつくることができる」気付く。そのきっかけとなる『チャレンジコミュニティー』を北海道につくる。

②【若者創業相談所】

<u>ちいさな「プロジェクト」だって、りっぱな「シゴト」になる。</u>

- 学生発信のプロジェクトを、社会と直結させる。学生の企画の「やってみる」をサポート。

～起業スクールを始めたい訳じゃなかった。“ママ起業”という新しい生き方を生み出したかった～

ママ起業家支援のきっかけ

企業に雇用されるのではく、「働く場所」と「働く時間」を自分自身でコントロールできる起業は子供を持つ母にとっては非常に良い。「経済成長」だけが唯一のものさしではなく、「仕事」も「家庭」も「やりがい」も、全て一緒に実現していく新しい働き方・生き方を生み出すことを目的に「日本ママ起業家大学」を設立。

創業支援／創業機運醸成事業メニュー

稼げなくては、起業家とはいえない。

稼ぐだけでは、“ママ起業家”でない。

○日本ママ起業家大学（略称：「ママ大」）は、「ママ起業」に必要なことを学ぶための起業スクール。その特徴はとても実践的であること。

○マーケティング、セールス、情報発信～集客の方法などを学びながら、「名刺」や「プロフィール」「セールスツール」「ホームページ」等“稼ぐための必須ツール”を一緒に作成。

○そしてもう一つの特徴は「ママ大ビジョン」。「ママ起業」は日本の幸せな未来に欠かせない生き方のひとつと考え、ただ、お金を稼ぐだけではなく、仕事も家族もどちらも幸せな状態を目指す。

取組のこだわりポイント

“経済”も“幸せ”も両方手に入れる！

ママ起業のための６つのポイント

①ママ大ビジョンの共有で「仕事」と「家族」「やりがい」を同時に実現！

②ママ大オリジナルのシステムでビジネスのサイズとユニークなコンセプトを作成。

③全１２回のカリキュラムと１８０日間の伴走スタイルでサポート！

④卒業後も嬉しい！初動の起業をサポートし続ける「校友会」

⑤更なるステージアップを図る、ママ起業家のスター誕生！ママ起業家プレゼンmiraiの実施。

⑥お客様からファンに変える！“メディア化”であなたの「番組」を作成。

日本ママ起業家大学学長から一言

「ママ起業」を、趣味の延長とか、甘い、ぬるい など、やや後ろ向きの印象で捉えている方もいるかもしれませんが、自分の得意や好きなことをいかしてビジネスしようという「ママ起業」は最も自然な起業のあり方です。「コミュニティ」に根ざした働き方で自分とお客様と家族の満足をバランスよく求めるママ起業家たちこそ、経済だけでは図り得ない未来の鍵を握っているのだと私たちは考えています。よきママ起業家が増えることが、日本の未来を明るくする。さぁまずはあなたから！

日本ママ起業家大学　学長　近藤洋子

一般社団法人沖縄ビジネスインキュベーションプラザ　（那覇市 沖縄市 宜野湾市 糸満市 南風原町 八重瀬町 豊見城市）

民間と自治体広域連携による女性起業支援ネットワーク

自治体との連携の背景・きっかけ

- 既存の各支援機関や各自治体・商工会議所窓口では、女性の創業準備ステージ（フェーズ0.1）における相談対応が困難。（女性特有の課題等に理解が必要）
- ささやかなことでいいので、やりたいことを まずはやってみる！ことができる場、考えたことを具体的に実践できる場、試行錯誤（何度も失敗）できる場を提供。

創業支援／創業機運醸成事業メニュー

- 創業準備ステージ（フェーズ0.1）の女性対象の「輝き女性塾」＆「輝きフェスティバル」（起業実践）

取組のこだわりポイント

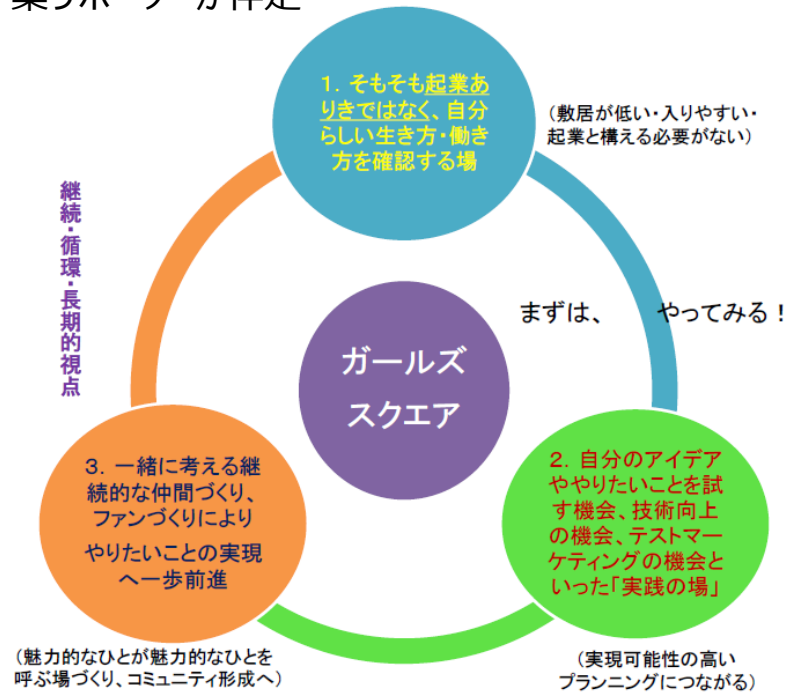
- 女性の創業支援はフェーズ0.1から取組み、既存支援機関へトスアップ（従来の創業支援はフェーズ２.3）

フェーズ 0	フェーズ 1	フェーズ 2		フェーズ 3	
起業って何？ 私でもできるのかな？まずは情報集めからスタート！ 一歩踏み出す。	起業してみたいという想いがあるけど何からどう始めたらよいのか知りたい。	起業にむけて一歩ずつ準備		わたしらしく事業をしていく	
		まずはいろいろ学びたい。必要な支援・環境を整えたい。	事業プランをつくってみる。起業に向けて準備をしたい。	起業～1年未満 スタートアップ	創業後3～5年

沖縄ガールズスクエア
（沖縄ビジネスインキュベーションプラザ）

既存の各支援機関

- ガールズスクエアBiz-Café（相談窓口）にて女性起業サポーターが伴走



銀座セカンドライフ株式会社

あなたのやりがいをカタチに！シニア起業支援

創業支援の経緯

- 2008年7月に銀座セカンドライフ株式会社を設立し、50代60代を中心とした「シニア起業支援」を開始。現在、定年前後の方に、ソフトとハードの両面の起業支援をワンストップで提供中。

創業支援／創業機運醸成事業メニュー

- 【起業相談】月間約150件。「起業はしたいが何ができるか分からない」等、起業のアイデア探しに時間がかかる人も多い。
- 【起業セミナー、起業スクール】シニア起業の動向・特徴、起業のアイデアの発掘方法、アイデアをビジネスプランに組立てる方法について事例を交え説明。
- 【インキュベーション施設】起業時に拠点となる低価格なレンタルオフィスを運営。起業家の仲間づくり、事業連携を支援。東京・銀座・新宿・渋谷・池袋・横浜・川崎・桜木町の12拠点を開設。約6,000社が利用。
- 【起業家交流会】1人で起業するシニア起業家が多いため、業務提携先や販路開拓支援のために各レンタルオフィスの拠点で昼や夜に実施。
- 【事務サポート】法人設立の支援や、会計記帳代行等を実施。
- 【ビジネスプランコンテスト開催】創業機運醸成のため、50歳以上の起業家を対象に開催。シニア起業ならではのビジネスプランを発掘、受賞者の事業をPR。

シニア起業支援のこだわりポイント

- 在職中に起業に関心を持った方が、起業準備を進められるように、起業支援情報を発信。産経新聞の連載コラム「片桐実央の起業相談」や起業支援の書籍などを執筆し、創業機運を醸成。
- 東京都のクラウドファンディングによる資金調達支援の事業を受託して実施。シニア起業家は、社会性のあるビジネスを手掛ける人も多いため、共感を呼びやすいクラウドファンディングが人気。
- 神奈川県の事業引継ぎ支援センターの連携創業支援機関にも認定。他人の事業を引き継いで起業する人に対する起業支援も実施。

創業者の声

〇まだ体制が不安定な創業時に、毎月の家賃はリスクがありました。コピー機やインターネット回線などオフィス環境として、ビジネスを行うのに必要な要件が全て揃っているのが助かりました。

〇会計記帳代行等の「事務サポート」を受けることで、経理スタッフを雇わず一人でスタートしました。また交流会で、仕事に必要な人脈の多くを獲得できました。